

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	専攻科医療秘書専攻		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演 習
科 目 名	AI特論Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	専攻科医療秘書専攻		学期及び曜時限	前期 水曜3限	教室名	PCルーム
担 当 教 員	BSC	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
Microsoft Azure AI-900試験対策として、各スキルを習得してから模擬試験で実践に近い形で問題を解いていただきます。何度も回答できる小テストを備えておりますので、授業内だけではなく各自で何度も復習をしていただくことが重要です。						
《成績評価の方法と基準》						
出席(20%)、平常点(10%)、課題・小テスト点(70%)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
Microsoft AI-900試験対策コンテンツ 対面授業、オンライン(ライブ)、オンデマンドの3つの授業形態(ハイフレックス型授業)で、テキストや動画を見ながら学生が独学できるようデザインされた教材です。講義は基礎分野と応用分野に分類されています。						
《授業外における学習方法》						
自宅等にインターネットにつながったPCがあれば、イーラーニングで自習できます。 欠席した場合は次の週までに課題を済ませて下さい。						
《履修に当たっての留意点》						
出席することが一番重要ですので、欠席しないように受講してください。						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第1回	演習形式	授業を通じての到達目標	身近なAIを知り、適正かつ有効に活用できる		AIリテラシー	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	社会でのAI活用事例、AIでできること・できないこと、画像認識体験、AIの欠点や問題点、ディープラーニングの仕組み			
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	AIブームの背景を知り、実際に体験を通して理解することができる		AI機械学習	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	AIブームの歴史、ディープラーニング、教師あり学習、教師なし学習、予測、分類、クラスタリング、機械学習体験			
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	AI-900全体像を理解できる		AIの種類と6つの原則	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	AI(人工知能)とは/AIの課題とリスク/責任ある AI/Azure AIサービスの基礎			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	機械学習の仕組みを説明できる 1		機械学習の予測	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	機械学習とは/機械学習の工程/回帰・分類・クラスタリング			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	機械学習の仕組みを説明できる 2		機械学習の学習方法と精度	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	教師あり機械学習モデルのトレーニングプロセス/ディープラーニング/Azure Machine Learning の処理フロー			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	Computer visionとCustom visionの違い、Face、Document Intelligenceの機能を説明できる	画像認識	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	Computer Visionの機能/顔認証の基礎/光学式文字認識の基礎		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	SNSや音声、会話のやりとりについて説明できる	自然言語処理	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	テキスト分析とエンティティ認識、センチメント分析/音声認識と合成、機械翻訳/会話言語理解(意味論的言語モデル-LUIS-)/対話型AI		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	生成AIのしくみとCOPILOTについて説明できる	生成AI	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	生成AIとは/大規模言語モデル/Microsoft Copilot/Azure OpenAI Serviceの基礎/責任ある生成AIの基礎		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	腕試し問題を解くことで現在の実力を測ることができる	腕試し問題	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	腕試し問題の実施、受験者登録		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	MSサンプル問題を解くことで試験問題の出題傾向を理解できる	MSサンプル問題	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	MSサンプル問題の実施		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	模擬問題を解くことで試験問題の出題傾向を理解できる1	模擬1	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	模擬試験の実施		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	模擬問題を解くことで試験問題の出題傾向を理解できる2	模擬2	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	模擬試験の実施		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	模擬問題を解くことで試験問題の出題傾向を理解できる3	模擬3	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	模擬試験の実施		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	模擬試験の結果を分析し、自分の弱点を把握して改善策を考えることができる1	模擬4	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	模擬試験の実施		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	模擬試験の結果を分析し、自分の弱点を把握して改善策を考えることができる2	まとめ1	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	模擬試験の実施		

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	専攻科医療秘書専攻		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演 習
科 目 名	AI特論Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	専攻科医療秘書専攻		学期及び曜時限	後期	教室名	PCルーム
担 当 教 員	BSC	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
Microsoft Azure AI-900試験対策として、各スキルを習得してから模擬試験で実践に近い形で問題を解いていただきます。何度も回答できる小テストを備えておりますので、授業内だけではなく各自で何度も復習をしていただくことが重要です。						
《成績評価の方法と基準》						
出席(20%)、平常点(10%)、課題・小テスト点(70%)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
Microsoft AI-900試験対策コンテンツ 対面授業、オンライン(ライブ)、オンデマンドの3つの授業形態(ハイフレックス型授業)で、テキストや動画を見ながら学生が独学できるようデザインされた教材です。講義は基礎分野と応用分野に分類されています。						
《授業外における学習方法》						
自宅等にインターネットにつながったPCがあれば、イーラーニングで自習できます。 欠席した場合は次の週までに課題を済ませて下さい。						
《履修に当たっての留意点》						
出席することが一番重要ですので、欠席しないように受講してください。						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第1回	演習形式	授業を通じての到達目標	腕試し問題を解くことで現在の実力を測ることができる		腕試し問題	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	腕試し問題の実施、受験者登録			
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	腕試し問題を解くことで現在の実力を測ることができる		腕試し問題	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	腕試し問題の実施、受験者登録			
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	MSサンプル問題を解くことで試験問題の出題傾向を理解できる		MSサンプル問題	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	MSサンプル問題の実施			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	MSサンプル問題を解くことで試験問題の出題傾向を理解できる		MSサンプル問題	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	MSサンプル問題の実施			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	模擬問題を解くことで試験問題の出題傾向を理解できる1		模擬1	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	模擬試験の実施			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	模擬問題を解くことで試験問題の出題傾向を理解できる2	模擬1	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	模擬試験の実施		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	模擬問題を解くことで試験問題の出題傾向を理解できる3	模擬1	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	模擬試験の実施		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	模擬問題を解くことで試験問題の出題傾向を理解できる4	模擬1	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	模擬試験の実施		
第9回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第10回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第11回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第12回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第13回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第14回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第15回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			